

シフトポジションインジケータ  
**SHIFT POSITION INDICATOR (Y41)**  
【'08～セロー250 (DG17J/DG31J)】

車種専用ハーネスキット  
車種専用キット共通

**取扱説明書**

**セット内容**

- 専用ハーネス(HS-Y41) ●バーハンドルステア (SPI-BS01)
- タイラップ(142mm)x5本
- SPI-Y41車種専用キットはシフトポジションインジケータ本体が付属しております。
- HS-Y41ハーネスキットにはシフトポジションインジケータ本体は含まれません。  
別売りのSPI-110シフトポジションインジケータ本体(No.11014またはNo.11050)が必要です。

**注意事項**

- 本説明書はセロー250 ('18)に対応する内容で記載致しております。  
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- SPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。  
付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での  
取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は  
一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用  
について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

**取り付け方法**

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。  
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

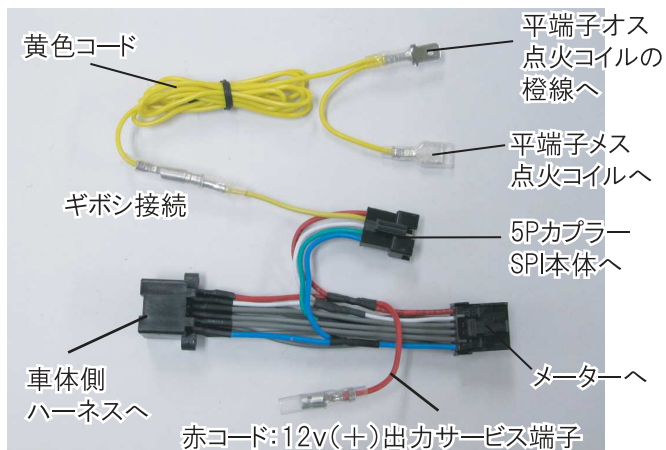
**【取り付け作業の準備】**

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

- ①ヘッドライトカウルを外します。
- ②12Pカプラーをメーターから取り外します。



**【専用ハーネス接続図】**



※12V(+)出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の  
接続を始め、アクセサリ電源として多目的に活用頂けます。

**【専用ハーネスの取り付け】**

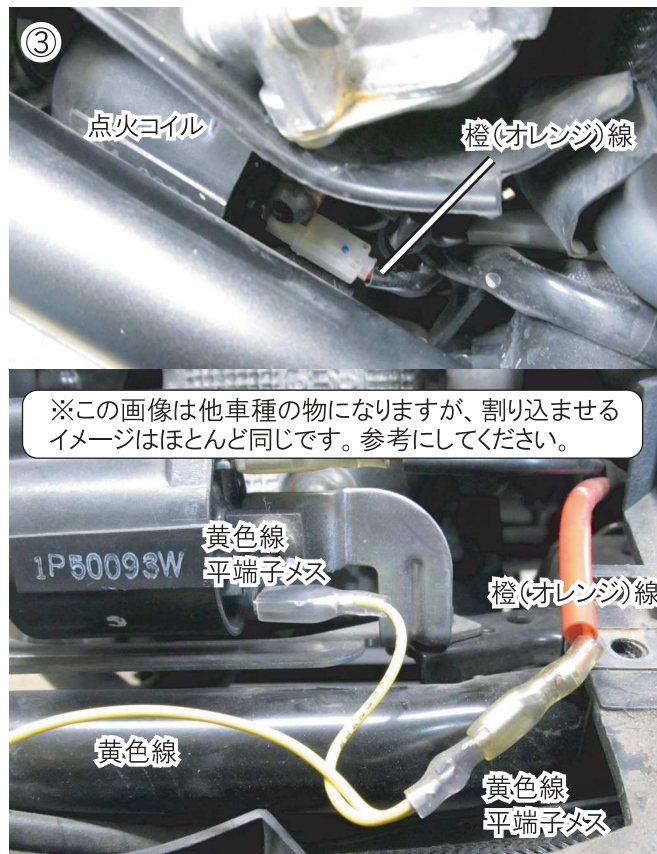
- ①専用ハーネスをメーターと車体側ハーネスとの間に  
割り込ませます。



- ②左側サイドカバーを外します。



- ③点火コイルの橙線の端子を外し黄色線を割り込ませます。



※平端子の大きさが合わない場合、黄色線と橙線をダイレクトに  
結線してください。

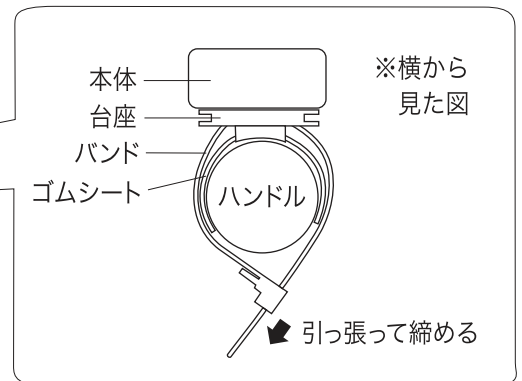
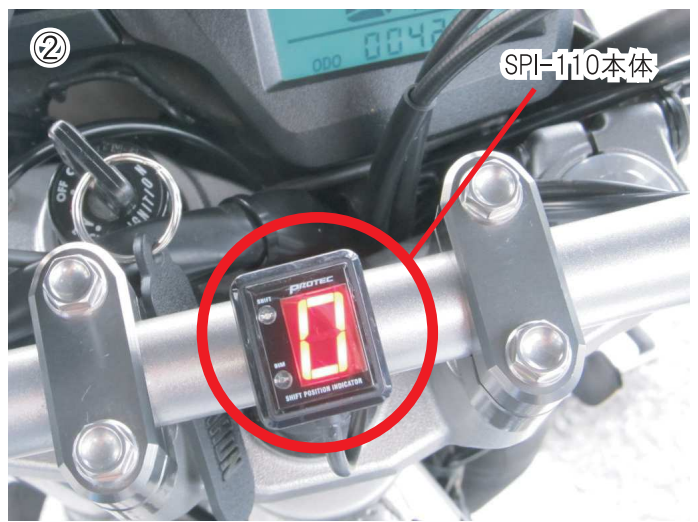
裏面続く

## 【SPI本体の取り付け】

- ①下の画像を参考に付属品のハンドルステーを取り付けます。
- ②SPI本体をハンドルステーに両面テープを使って貼り付けます。  
※ 後で、ギアポジションの登録及び、シフトアップインジケータの設定を行いますのでSPI本体は仮付けにしてください。

## 【車種専用キットはシフトポジションデータが登録されております。】

- ③SPI本体のコード専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。  
※ ハンドルを左右に切った際、SPI本体のコードに無理な力が加わらないよう取り回し、SPI本体のコードは車体側ハーネスなどにタイラップで固定してください。
- ④ヘッドライトカウルを元に戻します。



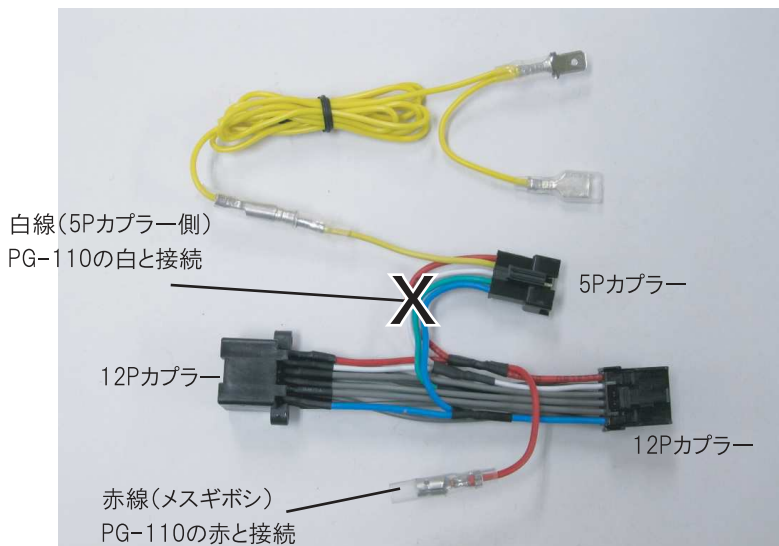
ギアポジションの登録、シフトアップインジケータ登録、及びエラー表示の詳細はシフトポジションインジケータの取扱説明書をご覧ください

## スピード信号エラーが出てしまう場合

※車両のスピードメーターセンサーの電圧が5v未満や経年劣化などの原因により、車両側のスピードメーターが正常に動作していても、スピード信号が認識されていないエラー表示「S」の点滅または走行中「1」しか表示されないことがあります。  
この場合の対処方法と致しまして、別売りのNo.11015【PG-110】を併用します。  
車両側のスピード信号を使わずにPG-110で発生させるスピード信号に替える事で正常に動作致します。  
PG-110を併用の際はギアポジション設定を行ってください。

### PG-110センサーの配線方法

- ①SPI本体と接続する5Pカプラーの白線を下の画像のXの位置で切断します。  
※注意！ 12Pカプラー間の白線を切断するとスピードメーターが動かなくなります。
- ②5Pカプラー側の白線とPG-110の白線を接続します。
- ③PG-110の12v(+)電源は赤線に接続。PG-110の説明書を参照してください。



### PG-110センサーの取付け例



PG-110に付属するアルミ板を上画像の様に2か所曲げ、プロテクターのボルトと共締め、ディスクローターにマグネットを3か所貼り付けます。  
マグネットはボルトを目安に等間隔に貼り付けます。